

再任用・再雇用職員・非常勤教員部ニュース

No. 313
2018. 9. 12.

東京都公立学校教職員組合（東京教組）
再任用・再雇用職員・非常勤教員部
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 2F
TEL. 03-5276-1311 FAX. 03-5276-1312

再任用・再雇用職員・非常勤教員アンケート 職場の実状を反映した勤務条件改善を

「猛暑」という言葉以上の過酷な暑さとゲリラ雷雨に見舞われた今夏、2学期の始まりを8月末からとする学校も多くなり、暑さと天候不順の中での学習スタートとなっています。職場の皆さん、熱中症など健康管理に気をつけていきましょう。

「異常気象」と同様、学校を取り巻く環境は、年々悪化してきています。多忙化どころか、まさに、学校こそがブラック企業といってよいでしょう。私たちの仲間でも健康を崩す人も増えているようです。管理職の横暴な言動に心を痛めている人も少なくありません。今年度初めて新しい勤務形態で迎えた方々も多くおられると思います。何か勤務上困ったことや疑問に思ったことはなかったでしょうか。そこで職場の実態を把握するために恒例のアンケートを実施します。アンケート結果を集約し、東京教組の協力を得て都教委交渉を行います。勤務条件改善のために皆さんのご協力をお願いします。

社会・経済の変化に対応する「人材の育成」の理念に基づいた「教育改革」は、「新自由主義」の企業をモデルに、「校長権限の強化」「トップダウン」などとセットに進められ、職場に「競争主義」を持ち込み、学校を大きく変えてきました。競争社会に対応するための「教育改革」ではなく、公平な教育を求める国民目線での「教育改革」をめざすことが大切ではないでしょうか。

昨年末から「学校現場の長時間労働問題」がマスコミでも報道され、「勤務時間管理」がほとんどなされていない実態や「給特法」の問題点が広く社会に知られるところとなり、今年8月末には、中教審が「政策提言」を行いました。我々組合が地道に職場の実態を訴えてきたことが、一定の成果を上げていると言えます。しかし、間近に迫る「新学習指導要領」の実施は、「英語の教科化」「プログラミング教育の必修化」などについて、「学級定数の削減」「専科教員の配置」など教職員定数の改善や、施設設備の拡充など「教育条件整備」がほとんどなされていないままであり、現場の負担だけが増すことになりそうです。

この夏の「人事院勧告」で「定年延長」が盛り込まれましたが、厳しさを増す教育現場の反映で、定年前退職される方も増えています。また年金支給開始年齢の引き上げによって、無年金期間も伸びており「定年退職後」の環境も厳しさを増しています。まだまだ課題は多く、今

後改善が必要です。現職の教職員のおかれている状況の改善と同時に、退職後の再任用・再雇用職員・非常勤教員の待遇改善もあわせて実現させていきましょう！

アンケートは、各単組、または10月12日（金）までに（東京教組・再任用・再雇用職員部へ）

再任用・再雇用職員・非常勤教員の重要書類

再任用・再雇用職員、非常勤教員は、定年前の常勤職員のとくと違い、ご自身で事務処理をしなければならないことがたくさんあります。次の書類はありますか。ご自身の記号番号等を書き入れてご確認ください。こうした書類は、送付される時期が異なりますので、今年再任用・再雇用職員非常勤教員になられた方、もう一度確認してください。再発行されない書類もあります。2年目以降の方もご確認くださいと安心です。

1. 年金証書（公立学校共済組合から送られてきます。）

[年金証書番号]

2. 健康保険被保険者証（最初の任用校で交付されます。）

（再任用短時間勤務職員・再雇用職員・非常勤教員）

[記号 番号]

3. 年金通知書または年金手帳

[記号・番号]

4. 雇用保険被保険者証（最初の任用校で交付されますが、区市町村教委で保管しているところもあります。）

（再任用短時間勤務職員・再雇用職員・非常勤教員）

[被保険者番号]

5. 厚生年金保険年金証書

再任用短時間勤務職員・再雇用職員・非常勤教員在職で、2年目以降「特別支給の老齢厚生年金」の受給を社会保険事務所に申請した方

6. 宿泊施設特別利用者証（年金受給者・公立学校共済組合）

（最初の任用校で交付されます。）

[会員番号]

7. 東京都福利厚生事業団カード

[会員番号]

8. 東京都教職員互助会退職互助事業特別会員証

（加入希望者のみ、最初の任用校で交付されます。）

沖縄元県知事 翁長 雄志さん追悼。 ご冥福をお祈りします。

8月8日(水) 沖縄県知事であった翁長雄志さんがすい臓がんのため、永眠されたとの悲報が届きました。翁長さんは前月の7月27日、病魔に冒され、ひん死の状況の中で辺野古の新基地建設に対し、土砂の投入という重大局面に差し掛かる前に知事の最大の権限である承認撤回に踏みきり、工事を停止させる決意を述べられました。テレビ等のニュースでご覧になった方も多いことでしょう。氏は、「埋め立て承認」撤回の理由について、条件となっていた「留意事項」に盛り込まれた県と国の環境保全策などの事前協議が行われていないことや、大浦湾側の軟弱地盤や活断層の存在、新基地が米国防総省の航空機の高さ制限に抵触していることなどを挙げて明確に説明されました。しかしこの県知事としての意向表明が、まさに命を削ってまでの最後の仕事となりました。

このことを翁長雄志さんの妻の樹子さん(62)が、沖縄タイムスのインタビューの中で、氏の思いなどを明かされています。(インタビュー記事抜粋)

「7月27日に撤回を表明し、30日に入院しました。10日そこそこで亡くなったんですが、肉体的にはとっても大変、きつかったと思うんです。弱いところを見られたくないという思いが強かったですから。副知事や公室長が来たときも病室のいすに座って話をしていました。

県民が諦めなければ辺野古の基地は造られないと思う。それは翁長も私も信じていた。県民が辺野古の基地はもうしょうがないということになれば、未来永劫(えいごう)沖縄に基地を置かれたままになる。それでいいのでしょうか。翁長は命をかけて、そこを問い続けた。」と。

また、同紙の8月28日コラムの中に、TBS記者の金平茂紀さんがこう書かれています。「翁長さんは元々、保守政治家でした。それが政府に抗(あらが)うようになったきっかけは何だったのか。ここでは三つのことを記しておく。

一つは2007年の教科書検定の際に、沖縄戦のさなか日本軍から強制された住民の「集団自決(強制集団死)」の記述が削除されたことへの強い怒りがあった。これはご本人が語っていたことだ。「日本政府はこういうことまでやるのか」と。さらに、2013年4月28日、政府が鳴り物入りで開催した「主権回復の日」の祝賀式典。沖縄にとってはこの日はサンフランシスコ講和条約締結によって日本から切り離されアメリカ軍政下に入った「屈辱の日」である。それを単純にことほぐ本土政府の浅薄さと非情さ。そして同じ年にオスプレイ配備反対、普天間基地県内移設反対の「建白書」を携えて上京しデモ行進をした際に、銀座で遭遇したヘイトの言葉。「売国奴」「日本から出ていけ」「中国のスパイ」などという暴言を翁長さんは直接浴びせられた。そうした動きと並行して、辺野古新基地工事の強硬な進め方に、翁長さんは沖縄に対する本土政府およびそれを支持する本土国民の、沖縄に対する無関心、本能的な蔑(さげす)み、いじめのような差別意識を体感したのではないか。沖縄人としての健全な郷土愛＝沖縄ナショナリズムが強靱(きょうじん)なものとなったのだろう。それが「イデオロギーよりアイデンティティー」という言葉に結実した。」と

後半にある「銀座で遭遇したヘイト」の場面は、書いている私自身も同様に、まざまざと記憶しています。

秋の交流会 11月17日(土)

杉並区堀之内の妙法寺周辺 昼食交流会もあります

天候不順の8月が終わり、二学期が始まりました。これから忙しくなる現場ではあるかと思いますが、秋も深まった11月のひと時、恒例の『秋の交流会』を開催致します。計画の概要が決定しましたので、ご案内いたします。

今回は杉並区にある妙法寺周辺の歴史探訪です。長谷川和男さんに講師をお願いします。杉並区立堀之内小学校の学区域には17件のお寺があります。時間的に全部のお寺を回るわけにはいきませんが、その中で今回6カ所のお寺を散策します。散策後には交流会をもち、各地区の様子など報告していただき、親交を深めたいと思います。たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。

期 日 11月17日(土) 10時00分集合・・・15時頃まで

(交流会を含めて)

集 合 午前10時 地下鉄丸ノ内線 東高円寺駅南口(1階青梅街道に面しています。)

行 程 蚕糸の森公園—蓮光寺—真盛寺—宗延寺—妙法寺—西方寺—慶安寺—まるまん

交流会 地下鉄丸ノ内線、東高円寺駅から3分。 日本料理店「まるまん」

参加費用 3,000円程度

参加方法 ①散策・昼食会の全行程参加 ②散策のみ参加 ③昼食会のみ参加
ご都合によって参加ください。

※人数によって交流会 会場が変更になることがあります。変更の場合は、参加を申し込まれた方にお知らせします。

参加申込み 10月末日までにお名前、参加方法を東京教組(FAX03-5276-1312)に、お送りください。

秋の交流会参加申込み書 (このページ用紙のままFAXしてかまいません)

お名前	単組(現・元) 職場	連絡先(できれば)
-----	---------------	-----------

1 散策・昼食会の全行程参加 2 散策のみ参加 3 昼食会のみ参加

※ いずれかに○印をつけてください。

2. 近況報告・メッセージ等あれば自由にお書きください。

当日の連絡先 090-5582-9163 E-mail linkenn1956@yahoo.ne.jp 林 健